

環境のひろば

211号

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 笠原金剛

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

ふるさとを
きれいに
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいにする運動”を推進するために配布しております。

「岡山県環境衛生協会」の新会長に笠原金剛氏を選出



会長就任あいさつ

笠原 金剛

平成29年度岡山県環境衛生協会定例総会、理事会において小山亮一前会長の後任として会長に選出されました。前会長のもとで8年間、副会長を務めましたが、会長職は初めてで、その大任を果たすためには、県内で環境衛生のために日頃から御尽力を賜っている皆様の支えが必要であると考えております。

さて、当協会は今年で結成60周年の節目を迎えました。前身である岡山県環境衛生協議会は昭和32年に

結成され、諸先輩のご努力により地域の環境改善に大きな成果を上げられました。その後、社会情勢の変化に合わせて会員の皆様には地域に根ざした活動に取り組んでいただいています。近年では、地球温暖化問題等環境衛生に係る新たな問題も発生しています。これらは我々の努力だけで簡単に解決されるものではありませんが、当協会としては、今後とも地域の実情に応じた活動により、県下全域の環境美化に貢献していきたいと思っています。

最後に、会員の皆様方におかれましては引き続き当協会の活動に御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 定例総会を開催

平成29年度の定例総会を5月24日に「岡山コンベンションセンター」で開催しました。

来賓として、牛場雅己環境省中国四国地方環境事務所長、佐藤兼郎岡山県副知事、片山誠一岡山県環境文化部長を迎え、盛大に開催されました。平成28年度事業実績・決算、平成29年度事業計画・予算、役員を選任について審議し、承認されました。

また、議事に先立ち、環境衛生改善活動に多大の功績があった団体、個人に対し、表彰状及び記念品の贈呈を行いました。

岡山県知事表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

- ・間倉町内会 (岡山市)
- ・岡山市立足守中学校生徒会 (岡山市)
- ・旭東地区青少年育成協議会 (岡山市)

◆環境衛生改善事業功労・個人

難波 倫子 (岡山市)	池畑 一男 (岡山市)	延堂 俊輔 (和気町)	中村美佐雄 (岡山市)	内田 治雄 (岡山市)
中島 芳夫 (岡山市)	矢部 直美 (岡山市)	西方 立夫 (岡山市)	大西 民子 (倉敷市)	吉田 徳雄 (浅口市)
間野 善雄 (浅口市)	臼井 晃 (倉敷市)	出口 祥三 (倉敷市)	戸川 正史 (里庄町)	藤原 清和 (井原市)
稗田 良治 (美咲町)	小椋 邦子 (鏡野町)	竹島 勝義 (美咲町)		

◆清掃事業功労

石原 恵一 (岡山市)	柏村 正勝 (瀬戸内市)	藤原 睦 (赤磐市)	秋久 浩一 (赤磐市)	小野 昌幸 (笠岡市)
田中 義一 (倉敷市)	近藤 一男 (倉敷市)	黒瀬 満治 (倉敷市)	片岡 義勝 (津山市)	

岡山県環境文化部長表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

- ・岡山市立野谷小学校児童会 (岡山市)

◆環境衛生改善事業功労・個人

更谷 暢久 (備前市)	中吉 邦夫 (玉野市)	久志 彰三 (玉野市)	山下 知子 (倉敷市)	田中 孝夫 (倉敷市)
原 一 (浅口市)	藤原 勝稔 (倉敷市)	鈴木 邦彦 (倉敷市)	吉田 陽平 (倉敷市)	江口喜代子 (倉敷市)

◆清掃事業功労

八田 勉 (岡山市)	平井 作実 (岡山市)	高橋 仁 (岡山市)	串田 雅志 (岡山市)	石井 義人 (岡山市)
石田 雅彦 (岡山市)	高本 信夫 (岡山市)	高橋 泰三 (福山市)	三尾 和司 (倉敷市)	柏野 静雄 (倉敷市)
田中 義信 (倉敷市)	渡辺 守広 (倉敷市)	五百森 悟 (倉敷市)	塚本 和重 (笠岡市)	川原 博 (高梁市)
今城 秀昭 (笠岡市)				

岡山県環境衛生協会長表彰 (支部名)

◆環境衛生改善優良地区

- ・北方東本町町内会 (岡山市)
- ・新田町内会 (岡山市)
- ・生江浜町内会 (井 笠)
- ・富婦人会 (津 山)
- ・上円子供会 (津 山)
- ・久木子供会 (津 山)
- ・高山市環境衛生組合 (高 梁)

◆環境衛生改善地区育成功労

曾我 勝晴 (岡 山)	藤原 勝利 (岡 山)	堀岡 亨 (岡山市)	人見 正久 (岡山市)	千原 裕子 (岡山市)
岡田 章 (岡山市)	松本 正志 (岡山市)	龍石 好美 (岡山市)	近藤 康文 (岡山市)	小野 郁子 (倉敷市)
中村 榮子 (倉敷市)	岡本 正夫 (倉敷市)	井上 洋子 (倉敷市)	尾藤 壽実 (倉敷市)	小野希與美 (倉敷市)
藤本 眞一 (倉敷市)	内田 誠 (倉敷市)	間野 利孝 (倉敷市)	相羽 貴子 (倉敷市)	橋本 良雄 (倉敷市)
片山トヨ子 (倉敷市)	久戸瀬 勇 (井 笠)	杉 秀樹 (新 見)	奥 利喜夫 (津 山)	細川 純三 (津 山)
黒瀬 和美 (津 山)	高森 禎一 (津 山)	吉田 康弘 (津 山)	中島 武男 (津 山)	宮内 功雄 (津 山)
浦上 弘子 (津 山)	萬代 陽吉 (津 山)	永見千夜子 (勝 英)	福山 智子 (勝 英)	

◆清掃業務従事功労

岩崎 文則 (岡 山)	広瀬 康成 (岡 山)	大崎 明 (東 備)	山根 寛隆 (東 備)	山本 正 (東 備)
定國 康之 (東 備)	若狭 正雄 (倉敷市)	森 広宣 (倉敷市)	川畑 公治 (倉敷市)	中村 智之 (倉敷市)
中本 忠義 (倉敷市)	飯山 雄一 (倉敷市)	鶴田 剛司 (倉敷市)	塩田 剛 (倉敷市)	増田 博之 (倉敷市)
石井 眞二 (井 笠)	伊達 研吾 (井 笠)	佐藤 正臣 (勝 英)	吉田 眞樹 (勝 英)	

(以上、敬称略)

■ 新しく選出された役員の紹介

会 長

笠原 金剛 (井 笠)

理 事

濱田 久子 (岡 山)

今中 慶一 (岡山市)

二宮万太郎 (岡山市)

久山 雅生 (岡山市)

福井 孝子 (岡山市)

森安 創 (岡山市)

横田 徹 (岡山市)

熊代 勉 (岡山市)

松本 正志 (岡山市)

更谷 暢久 (東 備)

守長 君子 (倉 敷)

野田 健一 (倉 敷)

石井 悦子 (倉敷市)

岡本 正夫 (倉敷市)

五島 榮二 (倉敷市)

鈴木 邦彦 (倉敷市)

出口 祥三 (倉敷市)

山本 光夫 (倉敷市)

高木 早苗 (井 笠)

藤原 清和 (井 笠)

手塚 幸恵 (高 梁)

徳森 勝造 (高 梁)

杉 秀樹 (新 見)

平川二美子 (新 見)

澤山 祥子 (真 庭)

水嶋 衛 (真 庭)

小椋 邦子 (津 山)

稗田 良治 (津 山)

岩本 硬司 (勝 英)

監 事

松井 健治 (岡 山)

小倉 浩 (高 梁)

治郎丸 勲 (勝 英)

副会長

熊澤 義郎 (岡 山)

室田 勉 (岡山市)

延堂 俊輔 (東 備)

守屋 新一 (倉敷市)

高山 康晴 (津 山)

岡阪 孝信 (勝 英)

■ 専門委員会の活動報告

第1回総務委員会 平成29年8月23日(水) 13:00～14:30

総務委員会では、モデル事業補助金交付要綱や賛助会員表彰について議論を行いました。賛助会員表彰は民間指導者研修会で行われます。

総務委員

委員長 藤原 清和 副委員長 徳森 勝造

委員 更谷 暢久 鈴木 邦彦 岡本 正夫 稗田 良治 岩本 硬司

第1回広報委員会 平成29年8月23日(水) 15:00～16:30

広報委員会では、機関誌「環境のひろば」の第211号の発行について議論しました。各地区での取組をはじめとした環境に関する記事を掲載しています。

広報委員

委員長 杉 秀樹 副委員長 福井 孝子

委員 二宮万太郎 五島 榮二 山本 光夫 高木 早苗 澤山 祥子

第1回リサイクル推進委員会 平成29年8月29日(火) 13:00～14:30

リサイクル推進委員会では、マイバッグの普及啓発について議論しました。県内全域でのマイバッグ配布を実施することとなりました。

リサイクル推進委員

委員長 小椋 邦子 副委員長 横田 徹

委員 熊代 勉 今中 慶一 守長 君子 野田 健一 平川二美子

第1回環境保全委員会 平成29年8月29日(火) 15:00～16:30

環境保全委員会では、今年度の役員研修会の開催内容について議論しました。今年度は視察を行うこととなりました。多くの県協会理事にご参加いただき、有意義な研修にしたいと思います。

環境保全委員

委員長 森安 創 副委員長 久山 雅生

委員 濱田 久子 松本 正志 出口 祥三 手塚 幸恵 水嶋 衛

支部だより

井笠
支部ごみのない美しい町を
目指して

矢掛町環境衛生協議会

矢掛町では今年の4月から、ごみの減量化を促進するため、家庭ごみについて、指定ごみ袋（有料）制が導入されました。

また同時に、ごみ袋の有料化により増加が懸念されていた、ごみの不法投棄対策として、不法投棄禁止の看板を町内全域に設置する活動を行っています。

不法投棄禁止看板は、町内全域のパトロールを行っ



ている矢掛町の環境巡視員により、不法投棄が発生している箇所に設置するほか、地域住民から情報提供のあった場所へ設置しています。

また、不法投棄防止だけでなく、町内会等が自主的に空き缶などのごみ拾いを行う『春季・秋季一斉清掃』や毎年11月に行われる『やかげの宿場まつり大名行列』、毎年2月に行われる『矢掛本陣マラソン全国大会』に合わせた、矢掛町職員による『クリーン作戦』により、町内の美化、清掃活動を行っています。

これらの活動により、これからもごみのない、快適で魅力あふれる町づくりを、町民・行政が一丸となって目指していきたいと思ひます。

倉敷
支部

マイバッグ持参運動の推進

早島町環境衛生協議会

皆さんは、レジ袋の年間1人当たりの消費量が300枚にもなることをご存じですか？

レジ袋が使われるということは、同じだけレジ袋がごみになっていることとなります。

例年、早島町環境衛生協議会では6月と11月の年2回マイバッグ持参運動の一環として啓発活動を行っています。6月は、JR早島駅前にて通勤・通学中の皆さまに、啓発用のチラシとティッシュを配り、マイバッグ持参運動へのご協力をお願いしました。中には、「マイバッグ運動、知ってます!」、「わたし、マイバッグ持ってます!」などの声が聞かれ、少しずつ浸透していることを実感しています。

レジ袋使用の削減ひとつひとつは、小さな取り組みではありますが、みんなで取り組むことにより大きな成

果となって表れます。これからもこの運動を通して、ごみの排出量を減らし、少しでも地球温暖化の防止につながればとの思いから多くの人に呼びかけを行っていきたくて考えています。



新見
支部

ごみのない社会を目指して

新見市環境衛生協議会

新見支部は新見市全体を範囲として、地域を旧市町単位で分け、クリーン作戦やごみの一斉清掃等の活動をしています。さらに、年間を通じて環境衛生に関する普及啓発活動、先進事例の視察研修、リーダー研修など、自己研鑽にも努めています。

これまでの地道な活動により、一時期に比べて随分ポイ捨てや不法投棄されたごみが減ったように感じます。

かつては、綺麗な清水、山奥の林道、貴重な植物の生息地などに、地元はもとより、遠方から運び込まれ、不法投棄されたごみに嘆息していましたが、現在は目にすることが少なくなりました。河川環境も随分と改善され、ホタルなども悠然と飛び交い、心を和ませてくれます。私たちは、圧倒的な自然の力の前に今一度、周りを

取り巻く環境に感謝し、真摯に向き合う必要があると感じています。

「我よし」の心でポイ捨てをしていた心が周囲を見渡せる心へ変わった時、ごみのない社会へ一歩前進するのではないのでしょうか。

そのためにも先輩諸氏の活動を継承し、身近な活動を続けることが大切です。

東備
支部生ごみの堆肥化による
ごみの削減

和気町環境衛生指導員協議会

和気町では、ごみ減量化のため、平成26年度から生ごみの分別収集を行っています。収集した生ごみは堆肥にすることで再利用され、ごみの減量化、焼却時に発生するCO₂の削減に寄与しています。

生ごみの分別収集は町内全域で行われており、町内約440箇所にある集積場所に設置してある生ごみ専用の容器に投入してもらっています。収集頻度は、週2回で、収集した容器と引き換えに洗浄済みの容器を設置しています。収集した生ごみは、町内の生ごみ資源化センターへ搬入され、堆肥化処理を行い、完成した堆肥は、希望する住民へ無償で配布しています。

平成28年度の生ごみの分別収集量は585.6tであり、49.1tの堆肥として再資源化されました。そして、これまでに製品化された堆肥26.4tが住民へ配布されました。この分別収集で削減されたCO₂は約1,150tになり

ます。

和気町では、今後生ごみの分別収集量650tを目指し普及啓発に努めることとしています。



岡山市
支部

岡山市不法投棄防止 対策連絡協議会

岡山市環境衛生連合協議会

岡山市では、毎年、廃棄物の不法投棄防止について、総合的かつ効果的な施策を推進するために、「岡山市不法投棄防止対策連絡協議会」を開催しています。今年度は、8月23日に岡山市勤労者福祉センターで行われ、当協議会をはじめ、岡山県備前県民局や警察署、民間企業までの24団体の代表者が出席しました。連絡協議会では、岡山市内における不法投棄の事案の紹介や、各関係機関等との協議及び情報交換を通じて、活動方針である「不法投棄防止に関する啓発活動」「不法投棄発見時の通報」「清掃ボランティア活動の実施」を再確認し、各関係機

関の役割に応じて、不法投棄防止に努めることとされました。

今後も、岡山市環境衛生連合協議会では、今年度から新会長に就任した室田会長の下、不法投棄を減らす活動を行って参ります。



循環と共生

里山の回復

新見市環境衛生協議会

昭和の中頃まで、家庭の燃料は薪や木炭でした。その燃料を得るため、子どもたちは、山に行き、鉞（まさかり）で切り倒したクヌギやコナラなどを、鋸（のこぎり）で適当な長さに切り、それらを背負って帰り、鉞で割って薪を作るという手伝いをしていました。切り倒した樹からは、再び芽が出て、20年も経つと、再び伐採に適当な大きさに成長します。

ところが、昭和30年ごろから、化石燃料が家庭で使われるようになったため、人々は山に入らなくなりました。その結果、現在山は荒れ放題になっています。クヌギやコナラなどは伐採も困難なほど大きくなり、その間に様々な木や草が生い茂っており、粗大ごみなどが不法投棄される場所になっていることもあります。こういった現状を憂い、私が所属する地域団体では、10年ほど前から「キノコ栽培講習会」を行っています。これは、山からコナラなどキノコ用の原木を切り出し、種

菌を用意し、都市住民の方々にお越しいただいて、シイタケ・ナメコの栽培用のほだ木を作ってもらい、それぞれが家庭に持ち帰って管理し、生えたキノコを家庭の食卓にのせていただくというものです。

放置されている山の広さと比べると、ささやかな活動かもしれませんが、お越しいただいた方々にはとても喜んでいただいております。これからも地道に活動を続けていきたいと思っています。



提言箱

ごみは地球を窒息させる

岡山市津高地区環境衛生協議会
重松 俊輔

今日のごみ問題は非常に大きな環境問題です。そこで、これから心掛けなくてはならないのは「ごみをどうやって処理するか」ではなく、「ごみを出さない」運動です。

そのためには、「燃えるごみは燃やす。燃えないごみは埋める。」というのではなく、「買わない・使わない・ごみを出さない・再利用する」ことを心掛ける必要があります。この四原則を実行するために私たちができることは、何よりもまず、使い捨てや過剰包装を慎むなど、一人ひとりが環境に対する配慮を再認識する必要があります。

このような取り組みを社会全体で積み重ねることで、ごみの減量化が促進されるのではないのでしょうか。

環境豆知識

無農薬栽培をはじめとした微生物の有効活用

倉敷市環境衛生協議会 矢吹 勝利

土の中の微生物と植物の根は共生関係にあると言われていています。そのため、野菜や果樹が元気よく成長するためには、土の中の微生物環境をよくすることが大切です。

植物の根と微生物の共生を適切に管理することで、難しいと言われているリンゴの無農薬栽培に成功した方もいらっしゃいます。

私も6、7年ほど前から微生物を活用した土壌改良剤を使って野菜栽培を試みております。その結果、害虫の被害や病気も少なくなり、農薬の使用頻度は極端に少なくなりました。何よりも驚いたのは収穫量が飛躍的に増えたことです。

微生物の働きにより、混ぜておくだけで家庭から出る生ごみを堆肥に変える製品も市販されており、これらはどなたでも手軽に始めることができます。

微生物を活用した無農薬栽培や生ごみの堆肥化など、皆さんも一度試してみたいはいかがでしょうか。

ごみ拾いを「見える化」?! ～晴れの国クリーンアップおかやま～

岡山県環境文化部循環型社会推進課

皆さんにとって「ごみ拾い」とはどんなイメージですか？

一人でこつこつと、ひたむきに……。そんなイメージがありませんか？

岡山県は、ウェブページ「晴れの国クリーンアップおかやま」でそのイメージを変えていきます！

ごみを拾って、スマホで撮影、アップロードして、岡山県内のどこで、誰が、どんなごみを拾っているのか「見える化」するウェブページ、それが「晴れの国クリーンアップおかやま」です。自分のごみ拾い活動をみんなに知ってもらい、共有しましょう！

個人での参加はもちろん、企業、団体の方の参加も可能です。皆様のご参加をお待ちしております。



ゴミを拾う



写真を撮る



投稿する

詳しくは
こちら⇒



晴れの国クリーンアップおかやま

検索

■ 新規賛助会員のご紹介

新たにご入会いただいた賛助会員は次のとおりです。

株式会社 山田養蜂場 様 (鏡野町)

誠にありがとうございます。末永くご支援賜りますようお願いいたします。

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動、マイバッグ推進運動等へのご支援をお願いします。1口1万2千円で、1口から入会できます。

編集後記

私が住んでいる新見市では、この「環境のひろば」は、各行政地区ごとに回覧されます。私も過去何回か原稿を頼まれ、筆を執ったことがあります。

原稿を頼まれるとさあ大変です。読んでくださる方があるのだろうかなどと余計なことを考える余裕もなくなり、少しでも良い原稿を書こうと無い知恵を絞って四苦八苦、締め切りに間に合わないこともしばしばです。

読んでくださっている方から、「読んだよ!」と言われると、一生懸命書いた苦勞が報われたような気がします。今回投稿してくださった皆さん、お疲れさまでした。少しでも多くの人々が読んでくださるようお互いに祈りましょう!

広報委員 杉 秀樹



広報委員

委員長 杉 秀樹 副委員長 福井 孝子
委員 二宮万太郎 五島 榮二 山本 光夫 高木 早苗 澤山 祥子

地域環境の保全・創造に
貢献する地域で
最も必要とされる組織へ



公益財団法人
岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
TEL (086) 298-2122 (代)
FAX (086) 298-2496

厚生労働大臣登録水質検査機関
厚生労働大臣登録食品検査機関
厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関
岡山県知事指定浄化槽検査機関

公益財団法人
岡山県健康づくり財団

〒700-0952 岡山市北区平田 408-1
TEL (086) 246-6257 (代)
FAX (086) 246-6258
北部オフィス 〒707-0004 美作市入田 291-2
TEL (0868) 75-3151
FAX (0868) 75-3153

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人
岡山県浄化槽団体協議会

会 長 八 田 富 夫
副 会 長 木 村 俊 介
常 務 理 事 梶 英 正

〒703-8282 岡山市中区平井 1097
電 話 086-276-8585
FAX 086-276-9081